

## 令和三年度彙報

本年度の総合仏教研究所は、所長を種村隆元、副所長を石川琢道、加島勝（〓十月）、榎本淳一（十一月）が務め、研究所の運営にあたった。また、横山裕明が研究所主任、前田真悠里が事務運営を担当した。

研究所講師は、阿部真也、房貞蘭の計二名であった。さらに、矢野秀武先生を特別講師に迎え、特別講座を開催した。なお、竹村牧男先生、齊藤隆信先生を特別講師に迎える予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため春学期開催予定であった両先生の特別講座については次年度に延期となった。

次に、本年度の研究所の主な活動についてまとめる。

### ○所内研究発表

総合仏教研究所では、研究生全員と新任研究員に研究発表を義務づけている。本年度も二回にわたり、研究所に在籍する研究生四名と新任研究員一名による研究発表会を開催した。その開催日、発表者および題目

については「活動日誌」を、また発表内容については「所内研究発表会発表要旨」をご参照いただきたい。

### ○特別講座・公開講座

総合仏教研究所では、研究成果の公開および学術交流を目的とし、各種講座を開催している。

特別講座は一名の特別講師が担当した。矢野秀武先生には「上座部仏教と現代社会―タイの事例を中心に―」全五回のご講義をいただいた。

公開講座は、研究所講師および研究員により、それぞれの専門分野から四回にわたり開催された。これらの講座の内容については、「公開講座要旨」をご参照いただきたい。

学外招聘講師による公開講座は、新型コロナウイルス感染症予防のためにすべて中止となり、次年度に延期となった。

### ○研究活動

総合仏教研究所では、ひとつの「研究テーマ」に対して、講師・研究員・研究生がそれぞれの専門領域を

生かしながら参加する「研究会」が組織され、この研究会を単位とする研究活動に対して助成が与えられている。

研究助成には、更新・継続申請の研究会が十二件あった。総合仏教研究所運営協議会の厳正なる審査を経て、十二研究会の申請全てが承認された。

### ○研究助成

#### 【本研究会】

##### 〈更新承認〉

- ・中世東国仏教研究会 代表 大八木隆祥（綜仏研究員）
  - ・梵語仏典研究会 代表 安井 光洋（本学講師）
  - ・密教聖典研究会 代表 駒井 信勝（本学講師）
  - ・大乘経典思想研究会 代表 伊久間洋光（綜仏研究員）
- 〈継続承認〉
- ・モンゴル佛典研究会 代表 阿部 真也（綜仏講師）
  - ・頼瑠撰『真俗雜記問答鈔』訳注研究会 代表 小宮 俊海（本学講師）
  - ・近世唱導文芸研究会 代表 平間 尚子（綜仏研究員）
  - ・室町期における諸宗兼学仏教の研究会

代表 大橋 雄人（本学講師）

・仏教文化におけるメディア研究会

代表 森 覚（本学講師）

・仏教史料研究会

代表 石井 正稔（綜仏研究員）

・The Development of the Concept of Mirror and its

Reflection

代表 房 貞蘭（綜仏講師）

・鎌倉仏教人師の伝記資料研究会

代表 安孫子稔章（綜仏研究員）

以上の各研究会の研究成果の一部は、「共同研究」総合仏教研究所研究助成中間報告」として掲載されているので、ぜひ御高覧いただきたい。

### 令和三年度 活動日誌

○四月二十一日（水）

【第一回総合仏教研究所会議】

○四月二十八日（水）

【総合仏教研究所総会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためメール会議。

【第二回綜合仏教研究所会議】

○五月十九日（水）

○七月七日（水）

【第一回所内研究発表会】

【第一回綜合仏教研究所運営協議会】

〈発表者〉

※新型コロナウイルス感染症予防のため対面とオンラインのハイブリッド形式で開催。

青木篤史：近世の関東十八檀林における規律とその

変遷

長尾光恵：唐代初期浄土教における種子説

○七月二十一日（水）

【綜合仏教研究所 研究会代表者会議】

○六月十六日（水）

【第二回所内研究発表会】

○十月十五日（金）

〈発表者〉

【第一回特別講座】

米川佳伸：『弁顕密二教論』に引用された『五秘密経』

について

上座部仏教と現代社会…タイの事例を中心に  
上座部仏教の概要…どこが日本仏教と違うのか？

田中純也：Śaṅkara 作 Prāśnopanīśadhāśya の真偽

問題

特別講師 矢野秀武（駒澤大学教授）

高橋秀慧：近代日本宗教史研究における「勤王僧」

研究の意義

○十月二十日（水）

【第一回公開講座】

○六月二十三日（水）

〈発表者〉  
平間尚子：術婆伽説話の生成と展開

濱田由美：福田会育児院恵愛部と順天堂の関係につ

特別講師 矢野秀武（駒澤大学教授）

いて―佐藤静子を中心に―

○十月二十九日（金）

【第二回特別講座】

上座部仏教と現代社会…タイの事例を中心に

出家者の実践…なぜ出家するのか？

特別講師 矢野秀武（駒澤大学教授）

○十一月十日（水）

【第二回公開講座】

〈発表者〉

嶋田毅寛：ヤスパース仏教研究

―ヤスパースの思想の変遷と仏教との関わり―

西野翠：維摩居士と質多羅長者をめぐって

○十一月十二日（金）

【第三回特別講座】

上座部仏教と現代社会…タイの事例を中心に

在家者の実践…なぜお布施がさかんなのか？

○十一月十七日（水）

【第三回総合仏教研究所会議】

○十一月二十四日（水）

【第三回公開講座】

〈発表者〉

木村美保：『悲出現と称する修習念誦次第儀軌』の

日輪観について

松本恒爾：Candrakīrtiの仏説法とその背景

平林二郎：初期仏典の唱誦

○十一月二十五日（木）

【第二回総合仏教研究所運営協議会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン  
で開催。

○十二月三日（金）

【第四回特別講座】

上座部仏教と現代社会…タイの事例を中心に  
死を学ぶ実践

特別講師 矢野秀武（駒澤大学教授）

○十二月八日（水）

【第四回公開講座】

〈発表者〉

房貞蘭…Ritual Functions of Divination in Indian

Tantric Traditions

阿部真也…『彰所知論』と『蒙古源流』

○十二月十七日（金）

【第五回特別講座】

上座部仏教と現代社会…タイの事例を中心に

社会にコミットする仏教

特別講師 矢野秀武（駒澤大学教授）

令和四年

○二月十日（木）

【第四回総合仏教研究所会議】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン  
で開催。

○二月十七日（木）

【第三回総合仏教研究所運営協議会】

※新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン  
で開催。

○三月八日（火）

【研究所運営委員会】

令和四年三月三日 発行

大正大学総合佛教研究所年報 第四十四号

発行人 種 村 隆 元

編 集 大正大学総合仏教研究所  
東京都豊島区西巣鴨三丁目二〇番一号

製 作 株式会社 ノンブル社  
東京都新宿区西早稲田二丁目八番三三号二階

発行所 東京都豊島区西巣鴨三丁目二〇番一号  
大正大学総合仏教研究所  
電話〇三(三九一八)七三二二番(代表)

○研究所講師

阿 部 真 也 房 貞 蘭

○研究員

猪 股 清 郎 西 野 翠  
嶋 田 毅 寛 濱 田 由 美  
平 林 二 郎 松 本 恒 爾  
平 間 尚 子 木 村 美 保  
南 部 千 代 里 石 井 正 稔 章  
新 井 弘 賢 安 孫 子 稔 章  
小 崎 良 行 長 尾 隆 寛  
大 八 木 隆 祥 伊 久 間 洋 光

○新研究員

高 橋 秀 慧

○客員研究員

清 水 浩 子

○研究生

青 木 篤 史 長 尾 光 恵  
米 川 佳 伸

○新研究生

田 中 純 也

## 令和三年度大正大学総合仏教研究所名簿

(令和三年四月時点)

所 長	種 村 隆 元	教授
副 所 長	加 島 勝	教授
副 所 長	石 川 琢 道	准教授
副 所 長	榎 本 淳 一	教授
主 任	横 山 裕 明	非常勤講師
運営協議会委員	神 達 知 純	教授
	勝 野 隆 広	教授
	堀 内 規 之	教授
	種 村 隆 元	教授
	林 田 康 順	教授
	宮 崎 洋 一	教授
	佐々木 倫 朗	教授
	小 嶋 知 善	特任教授
	渡 辺 麻里子	教授
	伊 藤 淑 子	教授
	星 川 啓 慈	教授
	春 本 秀 雄	教授
	村 上 興 匡	教授
特別講師	竹 村 牧 男	先生
特別講師	齋 藤 隆 信	先生
特別講師	矢 野 秀 武	先生
客員教員	牛 黎 涛	非常勤講師